

政策名	5安全な港		責任者	総務部 危機管理室担当課長	連携担当課 (港営部)海務課
基本施策名	07危機管理機能の強化				
個別施策名	21防災対策を強化する		連絡先	052-654-7813	
事務事業名	05防災用資機材の確保				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	防災用資材の在庫等を点検し、災害時に対応できるよう随時確保していきます。	事業期間	昭和38年度～継続
概要	防災計画に基づき、防災用資材の保管数量及び保管場所の適正化を図るとともに、機材の随時点検を行い、不良な物は更新します。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合防災計画
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	災害時に対応するため、防災用資材の保管場所の適正化を図りました。(清港会・BX倉庫・金城倉庫への分散) また、資材点検・在庫確認を行い、不足分の一部補充を行いました。(平成21年10月、堀川口付近にて流出油(海面油膜漂流)が発生したため、油処理材2缶(36L)、油吸着マット500枚(50kg)を使用したことから、21年度は、油処理材2缶(36L)を補充しました。22年度、油吸着マット500枚(50kg)の補充を行います。)						
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
防災資材の点検	単位	目標	1	1	1	1	定期的な点検等を実施します。
	回	実績	1	1	1		
保管基準量に対する在庫数	単位	目標	6,668	6,668	6,668	6,668	基準数量 油吸着マット:3,500 油処理剤 :3,168
	個	実績	6,668	6,668	6,168		
事業費	千円	841	0	17	132		
人員 正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.05		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費相当額	千円	869	877	858	439		
事業費・人件費の合計	千円	1,710	877	875	571		

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
保管基準量に対する在庫保有率	単位	目標	100	100	100	100	油吸着マット及び油処理剤の基準数量を確保します。
	%	実績	100	100	93		
	達成率(%)		100.0	100.0	93.0		
	単位	目標					
		実績					
		達成率(%)					
観点	課題の有無	現状の「見える化」					その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・ <del>無</del>					油流出事故等については、発生が不確定であり、予算要求時期との関係から、補充対応が翌、翌々年度となる場合があります。
	目的・水準の妥当性	有・ <del>無</del>					
	利用者などの対象者ニーズ	有・ <del>無</del>					
有効性	成果の達成度	有・ <del>無</del>					
	内容の妥当性	有・ <del>無</del>					
効率性	実施主体の妥当性	有・ <del>無</del>					
	受益者負担の適正性	有・ <del>無</del>					
	経済性	有・ <del>無</del>					

### 4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			防災管理上必要な資機材であるため。
		維持		○	
		縮小			
			縮小	維持	拡大
			コスト		
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	いつ発生するか分からない事故等に、港湾管理者として防災用資機材の確保は必要です。				